



2022年3月4日

各位

会社名 株式会社トーホー
代表者 代表取締役社長 古賀 裕之
(コード番号 8142 東証第1部)
問合せ先 取締役 財務部担当 佐藤 敏明
(TEL 078-845-2431)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年9月3日に公表いたしました2022年1月期通期連結業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年1月期通期連結業績予想数値の修正(2021年2月1日～2022年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 190,000	百万円 △500	百万円 100	百万円 0	円銭 0.00
今回修正予想(B)	188,000	△450	150	300	27.88
増減額(B-A)	△2,000	50	50	300	27.88
増減率(%)	△1.1	—	50.0	—	
(ご参考)前期実績 (2021年1月期)	186,217	△3,141	△2,063	△3,591	△333.85

2. 修正の理由

2021年9月3日に公表いたしました2022年1月期通期連結業績予想値につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当第3四半期(2021年8～10月)頃まで続き、当第4四半期(2021年11月～2022年1月)には一定の落ち着きを見せ経済活動も徐々に回復していくものと想定し算出いたしました。しかしながら、デルタ株の感染拡大とそれに伴う飲食店での酒類提供禁止措置等は、当社の主力事業である業務用食品卸売事業を中心に想定を超える影響を与えました。その後、ワクチン接種が進み緊急事態宣言が解除された10月以降は経済活動が正常化に向かいはじめ、11月以降は堅調に推移いたしました。

以上のような状況から、売上高については前回公表値をやや下回る見込みではありますが、収益構造改革による損益分岐点の引き下げが計画通りに進んだこともあり、営業利益及び経常利益は前回公表値を上回る予定であります。また、2021年12月17日に公表した「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」の通り、固定資産の売却による特別利益を計上したことも寄与し、親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表値を上回る予定であります。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以上